

2025年2月26日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

原発性硬化性胆管炎(PSC)に関する細胞内シグナル伝達経路の解明

研究の概要

【背景】

原発性硬化性胆管炎（Primary Sclerosing Cholangitis；以下PSC）は、肝内外の胆管の線維性狭窄を生じる進行性の慢性炎症疾患です。自己免疫性肝炎や原発性胆汁性胆管炎と同様に免疫学的異常によると考えられていますが、詳細は不明です。治療法は対症療法以外には肝移植が唯一の救命法です。現在、長崎大学病院消化器内科と研究協力関係にある University of Michigan Internal Medicine では、PSC の病態に関わる分子細胞学的機序の解明をおこなっています。その中でも、我々は細胞内シグナル伝達経路に着目しており、PSC の発症・進行に関する細胞内シグナル伝達経路を発見するべく研究を進めています。

【目的】

本研究では PSC 患者さんの胆管組織を用い、PSC の病態に及ぼす細胞内シグナル伝達経路をより詳細に検討することを目的としています。

【意義】

本研究により難治性疾患である PSC の発症に関連するシグナル伝達経路がわかれば、これまで未知であった PSC の発生機序や病態解明への一助となる可能性があり、将来的な治療法の解明につながるかもしれません。

【方法】

対象となった方の胆管組織標本(パラフィンブロック切片)を用い、組織蛍光抗体法および in situ hybridization 法などを行い、細胞内シグナル伝達に関連するタンパク質の検出や、組織中の mRNA の局在を同定し、過去のデータと擦り合わせ、さらなる研究データの裏付けを行います。なおこの研究は University of Michigan Internal Medicine の協力のもと実施します。

対象となる患者さん

長崎大学病院移植・消化器外科において、1997年8月4日～2024年12月31日の間にPSCと診断され、肝移植術(生体・脳死)を受けた方が対象です。

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる試料・情報

患者背景(年齢、性別)を診療録より収集します。

研究に用いる肝・胆管組織は手術により得られた標本(パラフィン包埋ブロック標本)を用い、特殊免疫染色などにより疾患に影響を及ぼすタンパク質等について病理組織学的な検討を行います。

<p>本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>	
外部への情報の提供について	
<p>本研究は University of Michigan Internal Medicine(米国)と共同で行うため、標本や患者情報を郵送で提供します。その際は、個人情報とは関係のない番号（識別コード）を割り付けるため、個人情報が特定されることはありません。</p>	
情報の利用開始予定日	
<p>本研究は 2025 年 3 月 27 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です</p>	
<p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
研究実施期間	
<p>研究機関長の許可日～2027 年 12 月 31 日</p>	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 地域医療支援センター/消化器内科 氏名：塩田 純也 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7481
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 消化器内科 塩田純也 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7481 FAX 095 (819) 7482	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間 : 月～金 8:30～17:00 (祝・祭日を除く)	